



NPO法人いすみライフスタイル研究所が発行する、いすみライフを応援する不定期刊のニュースレターです。WEBサイト「isumi-style.com」より抜粋してお届けします。

いすみの魅力

チーズ工房めぐり3とチーズ工房マップのご案内

●「手づくりチーズの醍醐屋」

民家の奥にひっそりとたたずむ工房、いすみ市内の5番目のチーズ工房「手作りチーズの醍醐(だいご)屋」は2013年の1月にOPENしたばかりです。

工房を営む木下さんは11年前にいすみ市へ移住。東京で公務員として働いていましたが、以前から「40代半ばになったら仕事をやめて好きなことをする!」と決めていたそうです。退職後はワインづくりや木工、有機農業など興味の赴くままに全国を回り、チーズ作りに辿り着きました。自宅と工房はなんと手作り!家は1年間東京と行き来しながら建てたそうです。敷地内にはお庭や畑もあり、自分ができる範囲で「農」も楽しんでいます。チーズは同じいすみ市内の「よじゅえもんのチーズ工房」さんに教わったものがベースになっており、独自のアレンジを加えオリジナルに仕上げました。工房でお客さんと交流することが楽しみという木下さんのチーズを是非一度ご賞味ください。

～販売チーズ～

- ・おつまみストリング
- ・なんでもモッツアレラ



- ・フレッシュ生チーズ(プレーン、ガーリック、バジル)

「手作りチーズの醍醐屋」

住所:千葉県いすみ市岬町榎沢1830

TEL:0470-87-7579 ※来店前に事前連絡をお願いします

営業時間:10:00～17:00

定休日:不定休

※看板が目印です。工房は敷地内にあります。

●チーズマップのご案内

これまでisumi-styleニュースレターでご紹介してきたいすみ市内5軒のチーズ工房。

このチーズ工房がすべて掲載されたチーズマップを、当NPOで監修・作成しました。デザイン・作画はいすみ市在住のイラストレーター、せきねゆきさん。かわいいイラストでチーズ工房を紹介しています。このマップは、当NPO事務所で配布しているほか、isumi-style.comからもダウンロードできます。ドライブがてら、市内のチーズ工房めぐりはいかがでしょうか?



イラスト作成:せきねゆきさん

自分生活 @ いすみ

あっくあっくママ座談会

●絵本読み聞かせママさんたちの活動

「第11回 いすみ生活座談会2 絵本読み聞かせママの子育てエンジンジョイライフ」より

◆「よむよむ」から「わっくわっく」へ

小さい頃から絵本の読み聞かせをするのは、親子の触れ合う時間のひとつの方法としていいということで、ここいすみ市内でもいくつか読み聞かせの会があります。

そのひとつが、岬町の児童館で毎月第1木曜日に行われている会、「よむよむ」です。

赤ちゃんから参加でき、子ども達の年齢層も幅広い。また、大原や一宮からの参加もあるため、人数も多く、ママ同士もつながりやすく、話しやすいとか。自分達も楽しく、別の人のアイデアももらったりといい刺激になるそうです。

そして、そこで出会ったママたち、雰囲気の良い千町保育所跡地で毎回テーマをかえてイベント企画を行うようになりました。これが「わっくわっく」です。主催は山辺文恵さん。そして、遠藤真梨さん、川岸智子さん、久我万里さんがお手伝いで参加しています。

読み聞かせや劇、川岸さんのフルート演奏、子どもも参加できるワークショップ、飲み物やパンの販売など、絵本をテーマにした企画も行われ、子ども達も大喜びです。

◆そして、広がりは「絵本 de カフェ」へも

「わっくわっく」と並行して、久我さんは「絵本 de Cafe」の立ち上げに

参加しました。

これは、親子でスイーツなどを食べながら絵本の読み聞かせと手遊びをする会で、毎月第1火曜日に大原文化センターで行われています。(H26年度からは、大原花本こども館、岬児童館、ひと月ごとに交互に開催予定)。

この文化センターは、新刊の絵本が入ること、調理室があり、そこでお菓子を作ったり食べたりできることから、会場に選ばれています。

この会では、田熊理恵子さんも参加、お菓子づくりを担当しています。

「ママさんたちを巻き込んでいろんなことができそうな気がします。まだ参加したことがない人や興味がありそうな人にも声をかけて、『子育てを楽しむ』つながりをもっと広げていきたい」と「わっくわっく」の山辺さんはおっしゃいます。

ママさんたちのこれからの活動が楽しみです。



山辺文恵さん



遠藤真梨さん(左)と久我万里子さん(右)



川岸智子さん



田熊理恵子さん

いすみ市の情報発信事業の継続につれ、市外、県外からもいすみ市のことが知られるようになってきました。テレビ・新聞などマスコミからの取材や番組制作協力のご相談を受ける機会も増え、当NPOもフィルム・コミッション(映画などの場所誘致や撮影支援)に近い業務も行うようになってきました。

●NHKドラマ「菜の花ラインにのりかえて」撮影・PR協力

◆ドラマ撮影・PR協力

いすみ市、大多喜町を走るいすみ鉄道をモチーフに、NHK千葉放送局70周年記念ドラマ「菜の花ラインに乗りかえて」が2013年春に撮影されました。

「地域発ドラマ」ということもあり、NHKでは地域との協働にこだわりたいということで、当NPOでは、撮影場所やロケ弁当の紹介、地元だからこその情報提供、地元でのエキストラの手配など、できる限りの協力をさせていただきました。俳優の吹石一恵さんや梅宮辰夫さん、石黒賢さん、浅田美代子さん、渡辺正行さんなどを間近に見ることができ、楽しい活動でした。

撮影が佳境に入る頃には、俳優さんやロケスタッフの方々へ陣中見舞。太巻き寿司や蛸飯、チーズなど、地元の特産品を中心に差し入れをし、大変喜んでいただきました。

また、このドラマの撮影にあわせ、自分たちでも自発的にドラマを応援し、地域も一緒に盛り上げていこうと「菜の花ライン盛り上げ隊」HPをオープン。撮影の日々の様子や担当ディレクターのインタビューなどを紹介しています。

こうした、ドラマの撮影・PRを地域と一緒に盛り上げている様子を評価いただき、4月18日にはNHKラジオ「ひるどき情報ちば」、4月28日NHK総合テレビ「とっておきサンデー」でその様子を取材、紹介いただきました。

そして、撮影が終わってからは、NHK千葉放送局から「菜の花ラインに乗りかえて」公式ホームページのコンテンツ制作の依頼があり、いすみ鉄道沿線情報をスタッフが直接撮影・取材し、編集プロダクションの協力もしました。

◆イベント・PR協力

他にも、このドラマといすみをPRするイベントなどに協力しています。NHK「スタジオパーク」ロケ撮影相談や、9月8日には「ちまちマーケット」でのドラマ試写会協力、9月14、15日NHK千葉放送局開局70周年記念イベント「みんなとみなとまつり」への出展と「ちばスタ」公開生放送に出演、9月28日大原文化会館でのBSコンシェルジュ公開収録をいすみ市商工会の皆さまと一緒に協力するなど、NHK千葉放送局の方々、地域の方々と一緒に、ドラマおよびいすみ地域のPR活動を行いました。ドラマは、10月9日にBSプレミアムで放送される予定です。



大多喜駅での撮影の様子



国吉駅での撮影の様子



いすみ鉄道応援団の皆さんもお手伝いに



国吉駅での撮影の様子



いすみの名物を撮影隊の皆さんに差し入れ



大原文化会館での公開収録イベントのお手伝い



「ちまちマーケット」でのドラマ試写会協力、9月14、15日NHK千葉放送局開局70周年記念イベント「みんなとみなとまつり」への出展と「ちばスタ」公開生放送に出演、9月28日大原文化会館でのBSコンシェルジュ公開収録をいすみ市商工会の皆さまと一緒に協力するなど、NHK千葉放送局の方々、地域の方々と一緒に、ドラマおよびいすみ地域のPR活動を行いました。ドラマは、10月9日にBSプレミアムで放送される予定です。



当NPO事務所での「とっておきサンデー」取材



「ひるどき情報ちば」にいすみPR出演

●フジテレビ「ぶらぶらサタデー」で古民家ツアーが紹介されました



いすみ市と協力して行っている情報発信・移住体験ツアーについて、フジテレビで関心を持っていただき、取材先の相談に応じている中で、7月6日放送「ぶらぶらサタデー」にてく外房古民家体験ツアー・海の幸・山の幸ひとり占めSPとして、出演者の方がいすみ市主催の古民家ツアーに参加するという番組企画が実現しました。



NPO法人いすみライフスタイル研究所 星千絵さん 金澤修子さん

タカアンドトシさん、温水洋一さん、坂上忍さん、三田友梨佳アナウンサーがスタッフの案内のもと、古民家で暮らすイラストレーターの和田さん宅を訪問。移住の経緯や古民家の修復について、日々の暮らしぶりなどを見聞きし、畑で野菜を収穫・料理し皆で頂きました。ブラウンフィールドでは、ツリーハウスの見学や日々の取り組みについて話を伺ったほか、手づくりパンを作るなど、ツアーを楽しんでいただきました。

いすみ市を研修の場所を選んでいただく動きも増えてきました。海と里山の両方に恵まれているためフィールドワークがやりやすいこと、市の地域活性化と情報発信の取り組みが参考になることなどが選ばれる理由のようです。

●海外からのお客様が来ましたvol.2 (JICA研修受け入れ)

2013年7月9日～13日の5日間。今年の冬に続き2回目のJICA(国際協力機構)の研修を受け入れました。今回はフィリピン、東ティモール、モロッコ、タンザニア、カメルーン、スワジランド、ハイチ、ベリーズから12名の研修生が来ました。彼らはNGOメンバーや地方行政官として地域づくりに関わる仕事をしています。「地域資源を活かし、自立した地域づくり」に取り組むことが研修のテーマで、発展途上国では水道などのインフラの整備、農業指導などが課題と、日本と境遇は異なりますが、市の「いすみ田舎暮らし情報発信事業」の実施団体として、また前回の研修受け入れを評価していただき、今回、2回目の研修となりました。

◆1日目は夷隔きやらぶき普及会の皆様のご協力で、太巻き寿司を作ってお昼にいただきました。お寿司が珍しい上に、初めての体験にみんな四苦八苦していましたが、好評でした。午後は市内観光、自己紹介、恒例の和太鼓「凧」の演奏に研修生は大感激でした。

◆2～3日目は「深掘りインタビュー」。地域づくりに関わる地元の方々に、海外研修生がテーマごとに分かれてインタビューするというもの。テーマは、(1)防災と地域コミュニティ(国吉地域)、(2)都市と農村交流、シェアする暮らし(桑田・松丸地域)、(3)第一次産業の今とこれから(須賀谷・峰谷・桑田地域)。自国と日本との相違に驚きながらも、お互いに理解が深まりました。

◆4～5日目は「あるものさがし」。A岬:太東海岸とビーチカルチャー、B夷隔:いすみ鉄道と国吉駅周辺、C大原:大原漁港と漁師町、の3地域に分かれて、自らの足で地域を歩き、地域の魅力を発見するフィールドワーク。研修期間中は、運悪くこの夏一番の暑さ。あまりの暑さに4日目には研修生もダウン、急ぎよ午後はホテルでの作業となりました。最終日には気づいた地域の魅力、発見をまとめ、関わってくれた方を招待しての発表会。発表後の意見交流会で印象に残った言葉が「その地域に住む人達がまず幸せになろう」と思うこと。それは国は違えど、日本も彼らの国でも何より大切なことではないかと思いました。彼らと文化交流でき、相互理解とたくさんの気づきを得られた5日間でした。



JICA受入団体:一般社団法人あいあいネット

住む人達がまず幸せになろう」と思うこと。それは国は違えど、日本も彼らの国でも何より大切なことではないかと思いました。彼らと文化交流でき、相互理解とたくさんの気づきを得られた5日間でした。



猛暑の中、大原の街を歩く



大原漁港と「いさばや」を見学



夷隔庁舎を見学



「いってんべえ、国吉!」を見学



直売所「土染の里」見学



シェアハウス「星空の家」見学



「ブラウズフィールド」見学



きやらぶき普及会の皆さんと記念撮影



峰谷営農組合の取り組みを取材



高秀牧場を見学

現地受入協力:NPO法人いすみライフスタイル研究所

●上智大学経済学部川西ゼミ合宿受け入れ

JICA研修に続き、9月23日～25日には、上智大学経済学部で「地域活性化」を研究テーマとされている川西諭先生のゼミで学ぶ3年生と4年生の学生さんたちの合宿を受け入れました。

「いすみでの新しいくらしをみつけよう」をテーマに、先生を含め約30人の合宿となりました。

◆1日目は、キックオフミーティングの後、午後に市内見学。ちょうど大原はだか祭りの日でしたので、祭りを見学して、その後、太東漁港を経て、千町保育所跡地へ。宿舎である「ふるさと憩いの家」で、夕食を取り、ワークショップのためのチームビルディングを行いました。

◆2日目は、午前中、グループに分かれて市内を視察。午後には、千町保育所跡地で、市民や市の職員を交えて「いすみでの新しい魅力的な暮らし方を提案する」ワークショップが行われました。学生さんたちが提案する内容に対して、市民の方々からは厳しい指摘などもあり、刺激になったようで、その日の夜、宿舎に戻ってから、提案を練り直す学生さんたちの姿が見られたそうです。

夜には、地域の方を交えたバーベキュー懇親会も行われました。

◆3日目も、千町保育所跡地でワークショップ。前日の反省を踏まえての提案づくりが行われました。お昼には、きやらぶき普及会のお母さんたちの料理を楽しみ、午後から、成果発表。前日の提案をさらに煮詰めたものから、開き直って突拍子のないものまで、楽しい発表となりました。

1、2日目は、あいにく雨となり、見学が十分にできませんでしたが、若い世代にも、いすみの良さを知ってもらいたい機会となったようですし、私たちが彼らの考え、視点を知るよい機会となりました。



コーディネーション協力:一般社団法人 手と手をネット
※この合宿は、「平成25年度都市農村共生・対流総合対策交付金」の対象事業です。

いすみライフマーケット IN ちまち「夏祭り」



7月・8月の「いすみライフマーケットinちまち」は、「夏祭り」と銘打って開催。大型ビニールプールや流しそうめんなどのイベント、ヨーヨー釣りやかき氷などの緑日出店で賑わいました。暑い中でも子供たちは元気いっぱい水遊びを楽しんでいました。

いすみライフマーケット IN ちまち「音楽祭」



9月のちまちは「音楽祭」を開催。青空の下、子どもたちが自分でデザインした色とりどり、素敵な手作り楽器で演奏会が行われました。教室では読み聞かせサークル「よむよむ」が音楽をテーマに絵本の読み聞かせを。ほかに、峰谷営農組合が無農薬天日干し米をPR、お米の食べ比べなどを行いました。

房総いすみで農コン!



6月23日に、夷隅きやらぶき普及会の協力を得て、農作業系の婚活イベントを開催しました。男性6名、女性7名が参加。自己紹介の後、畝立て、さつまいもの苗植え、じゃがいもの収穫作業、ロケットストーブを使った調理を行いました。カップルの成立は…。

癒しママWSシリーズ



いすみ癒し隊、いら研事務所にて毎月コンスタントに心理セラピーのワークショップを開催されています。回を重ねるごとにじわじわと人気の出ているこのワークショップ。参加者のみなさんは、親子関係や家族との関係などを見つめ直すいい機会になっているようです。

食と農と自然の暮らし体感ツアー



7月20日、「食と農と自然」をテーマに日帰り体験ツアーを実施。仲間同士でシェアする畑を見学した後、収穫体験、自分で収穫した野菜を使って作った昼食やブルーベリー農園での収穫体験など、自然が身近にある暮らしを体感しました。

長野県「移住相談等実務研修会」で講演



官民協働で移住事業に力を入れ積極的に活動していることが注目され、8月28日いすみ市企画政策課地域プロモーション室の方と、長野県主催による平成25年「移住相談等実務研修会」へ活動事例紹介に、千曲市まで行ってきました。

明治大学公共政策大学院長畑ゼミ合宿受入



NPO、コミュニティ研究がご専門の明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科、長畑誠教授のゼミ合宿を9月15、16日で受け入れました。いすみ市と当NPOの取り組みについてほか、社会人大学院生との地域活性化についての意見交換はとても刺激になりました。

isumi-style.com



当NPOが2010年8月より運営するWEBサイトです。「いすみ暮らし」を楽しくする情報を満載、毎日700人近くの人が見ています。また、いすみのイベント情報をご紹介しますメールマガジン「isumi-style通信」(300人以上の登録)の購読申込も受付中。



編集・発行 NPO法人いすみライフスタイル研究所

〒299-4692 千葉県いすみ市 岬町長者549 (いすみ市役所岬庁舎内)

J R外房線長者町駅下車徒歩10分

平日・土曜日 9時～17時まで Tel 0470-62-6730 Fax 0470-62-6731

Website <http://www.isumi-style.com>

E-mail isumi-style@bz03.plala.or.jp

2013年9月 第8号 不定期発行 発行責任者 君塚正芳

メールマガジン「isumi-style通信」は、携帯からも購読できます。

QRコードからアクセスして、お申し込みください。



【会員募集中】

当NPOでは、持続可能な地域づくりに向けて、一緒に活動する、又応援してくれる会員(正会員・賛助会員・サポーター会員)を募集しています。

詳しくはサイトをご覧ください。NPO事務所にお問い合わせください。